

# グローバル・タックス・ジャスティスの検討 — 「パラダイス文書」と EU金融取引税の観点から—

2017年12月3日（日）  
シンポジウム「税と正義／パラダイス文書、グローバル・タックス、税  
制改正」

津田 久美子  
北海道大学法学研究科博士課程／学術振興会特別研究員（DC）  
グローバル連帯税フォーラム理事

1. パラダイス文書  
—何が問題なのか—
2. EU金融取引税の挑戦  
—グローバル・マネーを制御する試み—
3. EU金融取引税の現状  
—意義、課題、展望—
4. グローバル・タックス・ジャスティス  
を考える  
—パラダイス文書とEU金融取引税から—



# 1. パラダイス文書 —何が問題なのか—



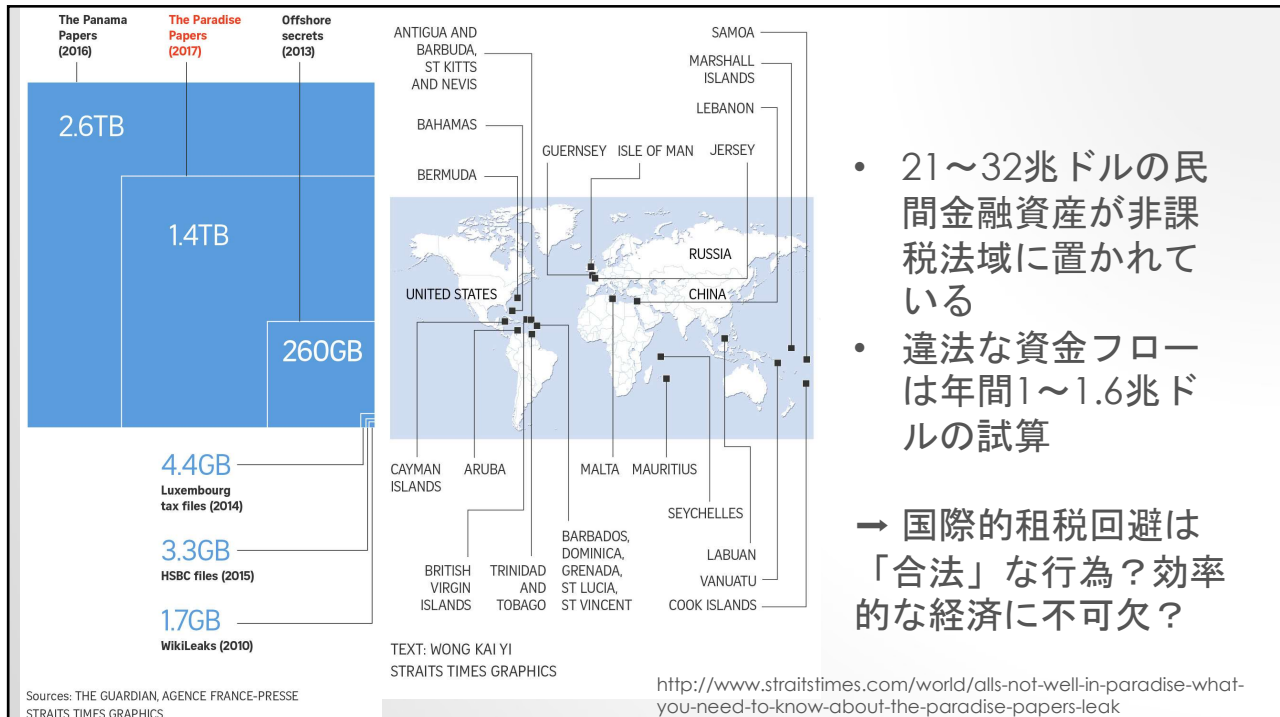
International Consortium of Investigative Journalists

INVESTIGATIONS > PARADISE PAPERS \* JOURNALISTS BLOG ABOUT

SHARE FOLLOW INVESTIGATION SUPPORT US



<https://www.icij.org/investigations/paradise-papers/>



- 21～32兆ドルの民間金融資産が非課税法域に置かれている
- 違法な資金フローは年間1～1.6兆ドルの試算

→ 国際的租税回避は「合法」な行為？ 効率的な経済に不可欠？

## 1. 「パラダイス文書」—何が問題なのか—

根源的な問題：秘密性・不透明なマネーの流れ

### ①不平等の温床

- 中間層の没落
- 民主主義の掘り崩し
- 途上国・新興国へのダメージはより深刻

### ②犯罪を助長

- マネーロンダリング（資金洗浄）、人身売買、違法な武器・麻薬等の取引...

### ③金融危機の発生に加担

- ヘッジファンドの乱立
- 過剰なマネー取引の舞台

→ グローバル・マネーの制御可能性を高める  
国際的な取り組み（課税、金融規制）の必要性

## 国際的な租税回避行動に対抗する

### ①不平等の温床

- 「抜け穴」を埋め、各国が自律的かつ民主的な税制運営を実現する  
→ BEPS（税源浸食と利益移転）対抗策プロジェクト

### ②犯罪を助長

- 国際的なマネーロンダリング包囲網を構築し、国際的な不正義を除去する  
→ FATF（金融活動作業部会）

### ③金融危機の発生に加担

- 各国経済を混乱させるグローバル金融市場を安定化させる  
→ さまざまな国際金融規制改革、**金融取引税**

秘密性を打ち破る → 各国租税当局が国外居住者の金融口座情報を自動交換する（例：OECD CRS = 共通報告基準）

## 国際的租税回避に対抗するグローバルな枠組み (概略)

合法だが経済効率性や公平性を損なう租税回避行為に対抗する

G20/OECD BEPS 15の行動計画 → 最終報告書  
→ 包摂的枠組み

脱税等を目的とした違法な資産隠匿を取り締まる

アメリカ  
外国口座税務コンプライアンス法 (FATCA)

OECD 共通報告基準 (CRS)

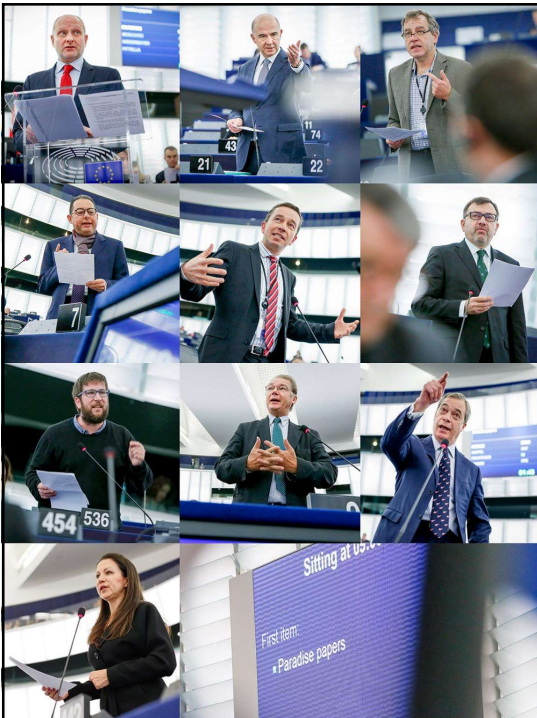
税の透明性と情報交換に関するグローバル・フォーラム

マネロン  
対策

マネーロンダリングに関する金融活動作業部会 (FATF)

途上国の税制改善・  
税務執行強化支援

税に関する協働のためのプラットフォーム  
(by IMF、OECD、世銀、国連)



## パラダイス文書を受けた EU欧州議会本会合での議論

- ・ ニーダマイヤー議員 (チェコ・欧州人民党グループ)  
「税の抜け穴を意図的にせよそうでないにせよ活用することは、経済や効率性を阻害し、不平等を増大させ、その結果として人々の信頼を損なうことになる」
- ・ ランバーツ議員 (ベルギー・欧州緑グループ・欧州自由連盟所属)  
「租税回避は公的システムのみならず、民主主義をも掘り崩す行為だ」
- ・ モスコヴィシ税制担当委員  
「もしこれが合法だと言うのなら、法の方を変えなければならない」

<http://www.europarl.europa.eu/news/en/headlines/economy/20171110STO87807/paradise-papers-debate-eu-countries-should-crack-down-on-tax-dodging>



## EUが独自に進める国際的租税回避対策の例 (一部)

マネーロンダリングに対抗  
する独自法案の検討

パナマ文書に対する独自  
調査機関の設置

法人税改革

多国籍企業への課税強化  
(優遇税制措置への追及)

EU独自のタックス・ヘイ  
ブンブラックリストの作成

## 2. EU金融取引税の挑戦 —グローバル・マネーを制御する試み—



## 金融取引税とは

- 金融市場で取引される株式、債券、デリバティブ、為替などへの課税政策  
※ 一国の施策としては珍しくない  
例) 日本の有価証券取引税 (1953-99)
- 取引ごとに低率の税を課し、市場を不安定化させる過剰な取引を抑制する構想  
= 国境を越えて飛び交う取引にグローバルに課税することが望ましい
- 開発・気候変動などグローバルな財源調達、または国内/EU財源調達手段としても注目
- 2008年リーマン・ショック後の世界金融危機、2009年ユーロ危機をきっかけに争点化

## トービン税とは

- 1970年代、為替市場の過剰な流動性を問題視したイェール大学のジェームス・トービン教授が通貨取引に低率の税を課すことを提案
- 1994年、度重なる通貨危機および国連財源やODA不足を背景に、国連開発計画 (UNDP) がトービン税を市場安定化策および開発資金調達手段として提案
- 1997~2000年頃、アジア通貨危機をきっかけに反グローバル化運動が興隆、通貨取引税の導入を要請
- 一部諸国で検討されるも導入ならず

## EU金融取引税 (FTT) の検討経緯

2009年

- G20サミットにて仏独がFTTのグローバルな導入を主張  
→ アメリカ、日本などが反対

2010年

- 欧州で緊縮財政へ抗議するデモ多発  
→ FTTを求める市民活動が活発化

2011年

- EUの欧州委員会がEU全体でFTTを導入する法案を発表

2012年

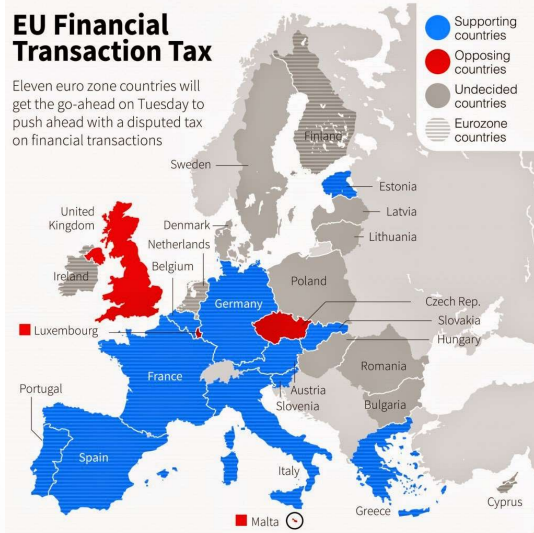
- EU理事会 (加盟国閣僚間会合) にてEU全体でのFTT導入を断念

2013年

- 11のユーロ圏諸国がFTTの導入意思を表明  
→ 一部諸国で検討を進める法案可決

### EU Financial Transaction Tax

Eleven euro zone countries will get the go-ahead on Tuesday to push ahead with a disputed tax on financial transactions



Revenue estimate for EU financial transaction tax (figures in billion €)

Product	Securities: 19.4			Derivatives: 37.7		Total: 57.1
	Shares	Bonds	Equity-linked	Interest-rate linked	Currency-linked	
Revenue	6.8	12.6	3.3	29.6	4.8	
Tax rate:	0.1%	0.1%	0.01%	0.01%	0.01%	

Sources: Reuters, European Commission

© Inton, W.Foo, 22/01/2013

REUTERS

### 3. EU金融取引税の現状 —意義、課題、展望—

#### 進展／意義

- 市場の安定化＋税収の再分配＋金融業界への責任・負担追及手段として争点化し、法制化に向けた検討が進んだ
- 実現不可能と思われてきたトービン税の新たな実施枠組みを提示  
＝「EU版トービン税」？グローバル・タックスの「社会実験」

#### 停滞／課題

- 総論賛成・各論反対で税制の詳細を詰めるプロセスが頓挫  
＝ 税収の使い道についてほとんど議論されないまま
- 金融業界の猛反発  
＝ エストニアの離脱、FIT参加国の消極化、課税範囲の縮小

#### 展望

- 最近では税収の観点から再び注目を集めつつある  
＝ 開発・気候変動対策資金調達／EU新財源
- イギリスEU離脱によってEU政治経済の先行きが不透明

### 4. グローバル・タックス・ジャスティスを考える —パラダイス文書とEU金融取引税から—

- パラダイス文書とEU金融取引税に通底する問題  
＝ 不平等を生じさせるグローバル・マネーをいかに制御するか
- 究極の理想論は、世界中の財政・課税政策を統一すること  
→ 国家間協力を基礎にした「次善の策」の模索へ —トービン税の原点
- グローバル・タックス・ジャスティスの模索  
＝ 国境を越えて飛び交うマネーに諸国が共同で課税・分配する  
＝ 各国がグローバル・マネーに左右されることなく、財政的・分配的正義にかなう税制を自律的に運営する  
→ 「代表なくして課税なし」？  
＝ 課税主権の一部は確かに制約を受けることになるが、  
共同でグローバル・マネーに網を張り巡らすことこそが、  
各国の自律性の取り戻しにもつながる